



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月2日

上場会社名 株式会社ダイショー 上場取引所 東
 コード番号 2816 URL <https://www.daisho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 俊一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三浦 和信 (TEL) 092-611-9340
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,633	3.8	1,318	1.0	1,302	△2.0	882	△1.5
	20,849	4.0	1,305	1.6	1,328	2.6	895	0.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2026年3月期第3四半期	円 錢		円 錢					
2025年3月期第3四半期	91.46		—					
	92.82		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	24,078	10,517	43.7
	18,705	9,799	52.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 10,517百万円 2025年3月期 9,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
2026年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2026年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 錢
	27,500	4.8	600	△8.6	600	△10.9	420	△8.3	43.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	9,868,800株	2025年3月期	9,868,800株
2026年3月期3Q	216,108株	2025年3月期	216,088株
2026年3月期3Q	9,652,710株	2025年3月期3Q	9,652,712株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無

法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、賃金水準は上昇傾向にあるものの、物価の継続的な上昇により実質賃金の改善には至らず、消費者の節約志向が一段と強まる状況が続きました。加えて、気候変動の深刻化や地政学的リスクの高まり、米国の通商政策の動向に加え、為替の変動も企業活動に影響を及ぼしており、外部環境の不透明感は依然として払拭されませんでした。

食品業界におきましては、値上げが継続しており、2025年4月～12月累計で1万4400品目超の価格改定が実施されました。原材料費・物流費・人件費などのコスト増により、企業は価格転嫁を進めざるを得ない状況が続く一方、販売数の確保は一層厳しいものとなっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、次のステップへ向けた施策の立案と実行を念頭に、2028年3月期までの3か年の中期経営計画に基づく取り組みをあらたに開始いたしました。次世代を切り開いていくために「Challenge 2028～世界に誇れる企業へ～」をテーマとして、ファン（FAN・FUN）を大切にし、食の楽しさを創造する企業風土を醸成し、市場づくり、モノづくりにおいて「“楽しい味”で世界にプラスを。」というビジョンを徹底的に追求してまいります。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群の小売用製品においては、「男梅」の濃厚な梅干しの味わいを再現した『男梅めんつゆ』や、「札幌 すみれ」の味噌ラーメンの味わいを取り入れた『名店のまかない飯 すみれ監修炒飯の素』など、コラボレーション製品が売上を牽引いたしました。主力製品の「焼肉のたれ」類はCM展開を強化するなどプロモーション活動が奏功し好調に推移いたしました。鍋スープ類では、人気YouTuber監修の『料理研究家リュウジ監修 至高のキムチ鍋スープ』や名店監修シリーズの『名店監修鍋スープ 喜多方ラーメン坂内淡麗旨だし仕立て』など、新しく投入した「監修鍋スープ」が引き続き好調に推移しました。長引く残暑の影響で鍋スープ全体の販売開始には遅れが見られましたが、気温の低下にともない鍋需要が高まるのに合わせ、鍋スープ全アイテムを対象としたキャンペーンを実施し、「博多もつ鍋スープ類」などの定番製品の売上に寄与しました。業務用製品においては、時短や手軽さなど、ますます多様化する需要への対応として、オイルソース類や惣菜向けソースの展開を進めた結果、精肉向けを中心に売上が増加いたしました。この結果、売上高は164億53百万円（前年同期比104.9%）となりました。

粉体調味料群においては、小売用製品の『味・塩こしょう』シリーズが好調に推移いたしました。この結果、売上高は34億23百万円（前年同期比106.2%）となりました。

その他調味料群においては、『5つの味のスープはるさめ』をはじめとした「スープはるさめ」シリーズが底堅く推移したものの、業務用製品の販売環境は厳しく、売上高は17億57百万円（前年同期比90.5%）となりました。

以上の結果、当第3四半期会計期間における売上高は、216億33百万円（前年同期比103.8%）となりました。営業利益は13億18百万円（前年同期比101.0%）と増益となりましたが、営業外費用の増加等により経常利益は13億2百万円（前年同期比98.0%）、四半期純利益は8億82百万円（前年同期比98.5%）となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ53億72百万円増加し、240億78百万円となりました。固定資産が総資産の51.7%を占め、流動資産は総資産の48.3%を占めております。資産の変動は、主に「受取手形及び売掛金」が37億40百万円、「建物及び構築物」が30億98百万円、「機械及び装置」が14億64百万円増加し、「建設仮勘定」が29億87百万円、「現金及び預金」が9億43百万円減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末に比べ46億55百万円増加し、135億61百万円となりました。流動負債が負債合計の73.0%を占め、固定負債は負債合計の27.0%を占めております。負債の変動は、主に「短期借入金」が31億円、「買掛金」が11億65百万円、「未払金」が5億28百万円、「未払法人税等」が3億35百万円増加し、「長期借入金」が2億40百万円、「賞与引当金」が2億22百万円減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ7億17百万円増加し、105億17百万円となりました。純資産の変動は、主に剰余金の配当1億73百万円の支出と四半期純利益8億82百万円の計上により「利益剰余金」が7億9百万円増加したことによるものです。自己資本比率は43.7%となり、前事業年度末に比べ8.7ポイント下降しました。

○当社の資本の財源及び資金の流動性に係る情報

当社の主な資金需要は、製品製造のための原材料費、労務費、経費、販売費及び一般管理費等の営業費用並びに当社の生産設備の更新、改修等に係る投資であります。

これらの資金需要につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー及び自己資金のほか、金融機関からの借入等による資金調達にて対応していくこととしております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「業績予想の修正に関するお知らせ」（2025年10月30日に公表）において発表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰り延べる方法を採用しております。

②税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,588	1,645
受取手形及び売掛金	3,275	7,016
商品及び製品	1,331	1,826
原材料	446	646
その他	151	496
貸倒引当金	△5	△8
流动資産合計	7,788	11,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,210	5,309
機械及び装置（純額）	986	2,450
土地	2,801	2,801
リース資産（純額）	568	443
建設仮勘定	3,024	37
その他（純額）	59	79
有形固定資産合計	9,652	11,122
無形固定資産	24	87
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,241	1,245
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	1,240	1,244
固定資産合計	10,916	12,454
資産合計	18,705	24,078

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,133	3,299
短期借入金	—	3,100
1年内返済予定の長期借入金	320	320
未払金	1,567	2,096
未払法人税等	49	384
賞与引当金	463	241
その他	435	464
流動負債合計	4,969	9,905
固定負債		
長期借入金	2,440	2,200
リース債務	435	387
退職給付引当金	551	559
長期未払金	495	495
その他	14	13
固定負債合計	3,936	3,656
負債合計	8,905	13,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	8,589	9,298
自己株式	△114	△114
株主資本合計	9,725	10,434
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74	82
評価・換算差額等合計	74	82
純資産合計	9,799	10,517
負債純資産合計	18,705	24,078

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	20,849	21,633
売上原価	12,792	13,264
売上総利益	8,056	8,369
販売費及び一般管理費	6,751	7,050
営業利益	1,305	1,318
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	4	6
不動産賃貸料	5	5
保険解約返戻金	21	0
助成金収入	—	7
その他	11	8
営業外収益合計	42	27
営業外費用		
支払利息	19	42
その他	—	1
営業外費用合計	19	43
経常利益	1,328	1,302
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
減損損失	29	—
店舗閉鎖損失	35	—
特別損失合計	65	0
税引前四半期純利益	1,262	1,301
法人税、住民税及び事業税	366	418
法人税等合計	366	418
四半期純利益	895	882

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	499百万円	712百万円